

浦安鐵鋼団地景況実感調査結果表
(平成22年2月分)

ご協力ありがとうございました。平成22年2月分の結果をお送りいたします。よろしくご査収ください。

調査対象 168社 回答 160社 回答率 95.2%

調査項目	前 月 比					計	前 年 同 月 比					計
	10%以上 増加・上 昇・好況	やや 増加・上 昇・好況	横這い ・平常	やや 減少・下 降・不況	10%以上 減少・下 降・不況		10%以上 増加・上 昇・好況	やや 増加・上 昇・好況	横這い ・平常	やや 減少・下 降・不況	10%以上 減少・下 降・不況	
売上数量	21社 13.4% (6.4)	37社 23.6% (14.7)	62社 39.5% (41.0)	26社 16.6% (21.8)	11社 7.0% (16.0)	157社	35社 22.7% (13.2)	15社 9.7% (9.9)	34社 22.1% (23.0)	28社 18.2% (17.8)	42社 27.3% (36.2)	154社
売上高	26社 16.5% (6.3)	32社 20.3% (17.1)	61社 38.6% (38.6)	30社 19.0% (20.3)	9社 5.7% (17.7)	158社	24社 15.4% (9.7)	11社 7.1% (3.9)	33社 21.2% (19.5)	35社 22.4% (20.1)	53社 34.0% (46.8)	156社
在庫数量	3社 2.0% (2.0)	25社 16.6% (11.8)	72社 47.7% (53.9)	43社 28.5% (26.3)	8社 5.3% (5.9)	151社	8社 5.4% (2.0)	6社 4.1% (8.1)	36社 24.5% (22.8)	32社 21.8% (17.4)	65社 44.2% (49.7)	147社
販売単価	0社 0.0% (0.0)	15社 9.9% (5.9)	105社 69.1% (69.3)	30社 19.7% (23.5)	2社 1.3% (1.3)	152社	3社 2.0% (3.4)	12社 8.1% (4.1)	32社 21.5% (16.9)	31社 20.8% (18.2)	71社 47.7% (57.4)	149社
収益状況 (粗利)	16社 10.2% (2.6)	20社 12.7% (8.4)	72社 45.9% (51.6)	34社 21.7% (26.5)	15社 9.6% (11.0)	157社	27社 17.9% (11.9)	12社 7.9% (4.6)	31社 20.5% (21.9)	32社 21.2% (16.6)	49社 32.5% (45.0)	151社
稼働率 (生産・加工設備)	6社 4.6% (4.0)	23社 17.6% (12.7)	62社 47.3% (46.0)	31社 23.7% (27.8)	9社 6.9% (9.5)	131社	17社 13.4% (9.0)	14社 11.0% (13.1)	35社 27.6% (22.1)	30社 23.6% (19.7)	31社 24.4% (36.1)	127社
入出庫の トラック台数	5社 3.4% (3.4)	25社 17.0% (10.8)	79社 53.7% (50.7)	29社 19.7% (25.0)	9社 6.1% (10.1)	147社	16社 11.2% (9.1)	18社 12.6% (11.9)	50社 35.0% (21.0)	29社 20.3% (26.6)	30社 21.0% (31.5)	143社
現在の景況感	2社 1.3% (0.7)	6社 3.9% (2.0)	45社 29.0% (26.1)	36社 23.2% (18.3)	66社 42.6% (52.9)	155社	2社 1.4% (1.4)	18社 12.2% (11.6)	32社 21.6% (13.7)	30社 20.3% (16.4)	66社 44.6% (56.8)	148社
3ヶ月後の 景況予測	1社 0.6% (0.7)	10社 6.5% (2.0)	43社 27.9% (26.1)	33社 21.4% (22.9)	67社 43.5% (48.4)	154社						
特記事項	今月も各品種の〔特記事項〕が数多く寄せられましたので、別送にてお知らせいたします											

- 注 ①調査対象会社数は浦安に事業所の無い会社（不在地主など）は除外してあります
 ②()内の数字は前月のパーセントです
 ③結果表は全品種の動向として集計し、品種別の要因を取り上げる必要がある場合は
 特記事項欄に別途記載いたします
 ④本調査の宛先等の変更は、浦安鐵鋼団地協同組合事務局までご連絡ください
 事務局 TEL：047-350-5311 FAX：047-350-5316

景況実感調査(2月) 特記事項

毎月、景況実感調査にご協力頂きましてありがとうございます。集計結果は別紙にてお送りしましたが、今月もたくさんコメントを頂きましたのでお送りします。ご査収下さい。

[お断り]毎月のコメントはあくまで個々の“生の声”です。業界全体の標準的見解とは、若干異なる場合もあります。また、不適当な表現やわかりにくい表現については書き直しております。信用問題にかかわるものも原則として掲載しておりません。

薄板・表面処理鋼板

- ① メーカー値上げに対する駆け込み需要はなく、国内建材分野は、依然として低迷している。
- ② 材料値上げのアナウンスの影響により、月後半での前倒し発注気味の需要増が見られ、翌月も継続中である。一方で先高感を見越しての材料抱え込みの動きが顕著となり、入手が一気に困難な状況となった。本格的需要の回復による需給タイト状況にはまだ時間がかかると思われる。
- ③ 在庫、需給ともに依然として低いところで均衡している。4月出荷分から15,000円のメーカー値上げ発表と、更に7月以降の不透明感の中で、流通は安値是正とあわせて早急な価格転嫁が求められている。自己責任に置いて、採算レベルへの販価引上げに努力したい。
- ④ 高炉値上げの方向性を受け、仮需の引合いが増えてきた。低位の在庫で不十分な対応だが、販売も増加傾向にある。一方、直需の足下は冷えた状態で、この相場が継続するか不透明。
- ⑤ 値上げがらみもあり、受注量増の現状である。3月いっぱいには続きそうな気配だが、4月以降に反動があると思われる。
- ⑥ 3月契約分、4月契約分と薄板はk/15の値上げ発表を受け、多少動意は見えるが、メーカーの枠も限られ、やはり実需を伴わない値上げの感が強い。国内の建築関連は、非住宅、野丁場は物件が少なく、カラー鋼板はメーカー設備や流通の統廃合も必要となりそう。リピート物は少しずつ戻ってきているが、小ロット、短納期となっており、依然、採算ベースに乗るまでの量的な回復はない。小規模な外注先が廃業して、その代替先を探している発注者も出て来ているらしい。いろいろな変化が、周りに散見されるようになって来た。
- ⑦ 高炉メーカーの大幅値上げ発表を受けて、仕入れはじり高。しかしながら、実需がないため動きがとれず、転嫁は厳しい。量が売れず、粗利が減るので一段と厳しい状況が続くであろう。我慢の一言。
- ⑧ 高炉メーカーの4月以降の値上げが@15~20で発表になった。各コイルセンサーは、昨年の苦しい経験から必要以上の申込みを入れていないし、高炉メーカーもキャパシティーの関係で受けていない。市中在庫は、さらにタイトになり、値上げ前の仮需がおきても対応できないと思われる。

中板

- ① 2月の販売量は前月比ダウンも、仮需は続いている。東京製鐵の連続値上げと高炉メーカーの値上げ発表が、仮需に拍車をかけており、在庫は急減し、歯抜けサイズも目立っているのが現状だ。実需は変わらず低調に推移しており、今後も回復が期待できない中ではあるが、市況は強基調にあり、小刻みに上昇している。スクラップ、輸入材の動向等が気になるが、当面、採算ラインまで段階的に値上げしてゆくことに注力する。実需がない中での製品値上げだけに、信用不安の増大が懸念され、与信にはより一層注意が必要になる。

厚板

- ① 当月は前月比で増加したものの、低い水準での山谷の変動であり、基調が変化したわけではない。首都圏の再開発関連の鉄骨が出件し始めたが、しばらくはこの状態で推移するものと思われる。在庫も比較的高い水準であり、年度末にかけてさらに増加する見込みである。厚板は輸出を中心として、比較的タイトであり、また高炉メーカーの値上げ表明があったため、価格的には先高感の期待はあるものの、内需が低調なため、まだ不透明感が払拭できない状況である。

一般用鋼

- ① 需給のバランスが保たれるという条件の中での値上げには、それ相応の困難がともなうものと思慮される。この需要の少ない中で値上げを実行していくために、説明責任を隅々まで行ってゆきたいと思う。その反面、メーカー側に対しては、需要に見合った生産調整と一物二価という販売姿勢を見直してもらいたいと思う。
- ② ここ数ヶ月に比べて、今月の売上、粗利が一割弱の増加を示しているのは、インフラ整備補修、例えば上水場や下水処理場の整備、補修、新設にともなう鋼材需要、あるいは駅舎等の耐震補強工事需要によるものである。したがって、期末である来月も多少期待が出来るが、4月以降の第一四半期は、官民の投資需要はまったく期待できない。秋に出てくると言われている民間建築需要までの半年間が正念場となる。

構造用鋼

- ① 店売りを中心とした動きは、3月に入り多少引合いが増えてきたようだが、基調としては変化していない。紐付きは、自動車関連は現状、堅調な動きを維持しているが、依然、一般産業機械や建設機械の回復は遅れている。

その他

<金属表面処理加工>

- ① 2月は物件物、紐付き材ともに計画通り。スポットは引合い、成約とも、まとまった明細となり、受注が回復。3月は緊急対応を含め確定している物件、紐付きを中心に高操業で推移しそうである。